

「わたしの本」 小学校新1年生に届けます

1 活動の概要

山北町では、子どもの健やかな成長を願い、小学校新1年生を対象に「サードブック」事業を実施しています。

「サードブック」とは、絵本を読み聞かせ、親子の心のかよい合いを深めることを目的にし、乳幼児検診時などに絵本を渡し“子どもと本とをつなぐ機会”となっている「ブックスタート」、3歳児健診時に絵本を贈呈する「セカンドブック」に続く事業です。



これまで町では家庭での子ども読書活動を推進し、「ブックスタート」事業の中で絵本やブックリストの配付、おはなし会などを実施してきました。2018年度（平成30年度）に第二次山北町子ども読書活動推進計画を策定し、子どもたちの成長に応じた読書のきっかけづくりや習慣化を支援するため2019年度（令和元年度）から「セカンドブック」「サードブック」事業を実施し、子どもの成長段階に合わせた本を贈呈することで、子ども読書活動を支援しています。

2 活動の状況、実際

【対象】町内小学校新1年生

【内容】山北町立生涯学習センター図書室にて選書された5冊の本から希望の本を1冊選んでいた
だき、4月23日から5月12日まで実施している
「山北町ファミリー読書週間」に贈呈を行います。

【児童の様子】

令和6年度は、校長先生から直接本が贈呈され「わたしの本」を真剣に開く様子がありました。また、贈呈後に校長先生による絵本の読み聞かせが行われ、教室が“読み聞かせのお部屋”となり、児童一人ひとりが絵本の世界に入り込んでいました。



3 新1年生の保護者の声

- ・本はいただいて一番うれしいものです。ついつい動画を見せたりもしますが、本を通して親子のコミュニケーションにも役立つので、ぜひ続けていただけるとありがたいです。
- ・本をプレゼントしてもらえる特別感があったみたいです。学校で受け取ったのも良かったです。
- ・入学のタイミングで本を頂けるのは嬉しい。おすすめの本を知ることができました。
- ・選書していただいた本の中から選ぶので、普段家では購入しない本を読むきっかけに繋がりました。